

とうり さと

# 桃李の里

福島市立中野小学校 学校だより

令和3年3月22日発行 (No. 34)

令和2年度最終号

文責：校長 白土 勲



## 御卒業おめでとうございます



佐藤玖龍君、渡邊瑞蓮君、宍戸美咲さん、佐藤生希さん、4人の卒業生のみなさん、御卒業おめでとうございます。

また、ここまで立派に育ててこられた保護者の皆様に、改めて心より感謝と敬意を表します。

いよいよ明日、卒業式が行われます。4人の卒業生には、今年度1年間様々な場面で心の支えになってもらいました。1年生から5年生は、頼りになる6年生がいてくれたお陰で、新型コロナウイルス感染症拡大という大きな不安も乗り越えながら、生活することができたのだと思います。

4人の卒業生は自分のことだけでなく、常に友だちや後輩のことを考えながら行動していました。その行動の根本には、「優しさ」がありました。4人には、「優しさ」が大きな強さや勇気になることを教えてもらいました。

卒業生4人と触れ合うことで学んだ「優しさ」の大切さや力を、残された在校生が引き継いでくれるものと思います。

6年生のみなさん、素晴らしい1人1人のよさを大切にしてください。人間は、どうしても比べようとしがちですが、そのような雰囲気決して負けないでください。自分が大切だと思うことを信じ、自分の夢、自分がなりたい人間を目指して、慌てることなく、じっくり1歩1歩歩んでいってください。世の中がどんなに便利に進化し変わろうとも、その世の中を作るのは「人間」です。世の中がどう変わるのかではなく、その世の中をどのような人間が作っているのかが大切なのだと思います。

卒業生が卒業するのはとっても寂しいことですが、いつでも中野小学校に来てください。在校生もうれしいと思います。

保護者の皆様、今年度1年間大変お世話になりました。

新年度早々臨時休校が続いたり、様々な行事等が中止や延期になったり、御不安や御心配をおかけいたしました。お子さんの健康、安全を第一に考えながら進めて参りましたが、私の力不足のために至らない点がたくさんあったかと思えます。そのような中、親身になって相談にのっていただいたり、御理解御協力をいただいたりしたPTA会長さんをはじめ、保護者の皆様のお陰で教育活動を進めて参ることができました。

改めて、心より感謝申し上げますとともに、引き続き令和3年度も御支援賜りますよう、よろしく願いいたします。

今年度大変お世話になりました。(長文をお許してください。)

